献血に協力を

「ゆうあい号」がやってきます

6月12日に献血車「ゆうあい号」がやって来ます。

16歳以上65歳までの健康なかたであれば、どなたでも献血できます。献血のさいは200ミリリットル採血されますが、身体にはほとんど影響なくすぐ普通の仕事をしても差しつかえありません。そして、献血されたかたには、献血手帳と記念品が用意されています。

献血をしておくと、血液の必要なときに献血手帳を病院に提示すれば、責任をもって必要な型の血液が供給されることになっています。

尊い生命を救うため、みんなの愛の献血で「ゆうあい号」に協力しましょう。

●とき／6月12日（月）午前9時30分から午後3時まで

●ところ／国鉄新津工場

古今川柳漫歩 (3)

亭主関白などと言われたのも戦前までのことで、今や右の語に代ってパパとかいう紙屑のように軽い言葉が用いられるようになって来た。

「連休」などと有難がるのは、先ずママや子供だけであって、休みを利用して久し振りのハイキングとかレジャーとか喜んではみても、パパは一家の御馳走の運搬屋に過ぎず、マイカーがあったとしても、運転手というところで、行楽地で他の者が飲めや騒げやと、浩然の気を養っていても、パパは酒やビールどころではなく、精々のところジュースくらいで満足していないと往きは良い良い帰りが危険である。

●ハイキング　パパ運搬屋で疲れ　（高木行々子）

●連休が終ってパパの按摩膏　（会田ブン吉）

つまり、休日とは言ってもパパにとっては家族に対するサービス日であり、後に残るものは疲労感だけで按摩膏を必要とする所以である。

子供が幼稚園に入る日が近づいてくると、ママも漸く子供の「しつけ」の大切なことに気がつき、パパにもこのことを納得させようと「子供が何でも真似をしますからパパも気をつけて」などと教育される。従って夫婦喧嘩も今迄のように華々しくはやれないことになる。

●入園前　パパも一緒にしつけられ　（西田佳枝）

それはそれとしても、入園式にママが孔雀のように晴れと着飾って意気揚々と子と連れ立って行くのに引きかえ、パパという名の男は、

●入園式　パパは留守居で皿洗い　（徳永信楽）

という有様で、すっかりマイホーム主義のパパとして飼育されてしまっている。

●ママの前　パパは自閉症となり　（鳩倉三郎）

●ママの前　パパは自閉症になったよう　（会田ブン吉）

これが昭和元禄のパパの実相だとするならば、昭和元禄のママの代表的一シーンは次の二句に要約されるであろう。

●パパ送り出してドラマにかじりつき　（小林たけし）

●パパ出勤ドラマも飽きて昼寝する　（山口静江）

このようにして、核家族電化・スピードの世は、ママに綽々たる時間的余裕を与えているに反し、パパはラッシュと長距離の通勤にくたくたになり、疲れ切って物言う力もなく、海の底の貝の身の上を想うように もなろうというもの。

（新潟大学名誉教授）

貝になりたいパパ

阿達義雄

さて、年と共に自己沈潜に浸って黙々として生きているだけのパパが、遂に「ああ、俺は貝になりたい。海の底の貝になりたい」と叫んで死刑にされた映画の主人公の心境に今更ながら共鳴して、口をもぐもぐ動かしてみても、確立されたママの権威は貧乏ゆるぎもしない。

●ママ発展　パパは益々貝

第二二五号の「古今川柳漫歩」の誤植訂正――「稀（き）有的」は「稀（け）有的」の誤りでした。

地域ぐるみで少年の非行防止を

新津警察署が昭和四十六年中に補導した少年は、七百十二名で、一昨年より二一％も多くなっており、本年はさらにふえる傾向にあります。

少年の非行防止は、家庭で正しいしつけをすることが第一ですが、より効果をあげるためには、地域ぐるみで自分たちの問題として取り組み、力を合わせて正しく導いていくことが大切です。

このようなことから、それぞれの地域で活動を推進してもらうため、県警本部長から今年度の少年補導員として次の十五名のかたがたが委嘱されています。

市民のみなさんがたの理解とご協力をお願いします。

（順不同、敬称略）

明間惠夫（東金沢）、和泉道夫（七日町）、大野貞一（本町一）、小柳正二（本町四）、金沢長作（金沢一）、欅田賀彦（草水一）、繁野道也（下新）、高野二三男（厳曽根）、中山祐照（車場）、南雲ハル（秋葉一）、平田キヨノ（荻島）、諸橋徳一（草水二）、柳原長助（中村）、山崎蔵吉（善道町一）、横野勇蔵（本町二）

歓迎……カメラの10ケ月払い
カラー同時プリント大キャンペーン
特賞1年分のカラーフイルム30名
カメラのサカツジメ
本店　新津市本町4丁目5－6　TEL（代）(2)0045
新町店　新津市新町1丁目2－29　TEL　(2)2484

男と女といつちだ
TEL ②0648・②6857